

お客様各位

2013年11月3日

城山観光ホテル

メニュー表示と異なった食材の使用に関するお詫びとお知らせ

このたび、当ホテルにおいてレストラン・ショップ・バー・バンケット（計20部署）、和食・洋食・中華の各調理部（13部署）、及び購買部に対する内部調査（調査期間：10月26日から11月2日）を自主的に実施した結果、メニュー表示と異なった食材を使用してお客様に商品を提供していた事実が判明いたしました。

ご利用いただきましたお客様をはじめ、関係者の皆さまには多大なご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

当ホテルといたしましては、今般の事態を重く受け止め、今後二度とこのようなことが起きないように、役職員一同チェック体制の強化や知識の向上を図るなど、再発防止に全力で取り組んでまいります。

記

1. 該当商品について

(A) 芝エビ、大正エビと記載したメニュー表示、商品名と使用食材が相違していました。

中華レストラン「翡翠廳」と宴会場で提供した中国料理、および惣菜として販売した商品の一部について、芝エビはバナメイエビを、大正エビはバナメイエビとホワイトエビを使用していました。なお、メニュー表示につきましては、業界慣習から小さい海老を芝エビ、大きい海老を大正エビとしておりましたが、公益社団法人「日本中国料理協会」から全会員への指導（2013年10月31日付）に則って、芝エビを小海老、大正エビを大海老へと表示を切り替えました。

(B) 使用食材を変更した際、メニュー表示およびパンフレットの記載内容の変更を失念していたものが2件ありました。

【対象のメニュー名と商品名】

- ① 洋食コース料理のお口直し用のシャーベットとして提供した「大隅産レッドパッションのシャーベット」について、本年8月の入荷終了に伴い産地表示を見直す必要がありましたが、そのままとなっております。
- ② 贈答用、引き出物商品である「チョコレートタルト」について、2010年8月に使用食材を外国産チョコレートから国産チョコレートに変更した際、パンフレットの記載内容を見直す必要がありましたが、そのままとなっております。

2. 本件に関するお客様からのお問い合わせ窓口（10:00～17:00）

城山観光ホテル 099-224-2260

以上